

年 月 日

保護者 殿
年 組 氏名： さん

学 校 名：
校長氏名：

耳鼻咽喉の健康診断結果のお知らせ

耳鼻咽喉の健康診断の結果は以下のとおりでしたのでお知らせします。

- 1 異常なし
- 2 異常の疑い

所見	A	
	B	

所見Aのお子様は、できるだけ早めに医師の診察、指導を受けられますことをお勧めいたします。

所見Bのお子様は所見や症状の程度が軽度なものです。経過によって症状が出てきました折には医師の診察、指導を受けてください。

所見Bの耳あかは家庭で処置していただいても結構ですが、無理にされると耳を傷つけるおそれがありますので十分に御注意ください。

所見や症状につきましては別紙「学校における健康診断で対象となる主な耳鼻咽喉の所見名の説明」をお読みいただき、お子様の健康状態や受診の判断の参考にしてください。

なお、受診報告書は保健指導の資料といたしますので、学級担任にご提出ください。

また、医療機関で詳しい聴力検査を受けられた場合は、オーディオグラムのコピーをもらい、受診報告書とともに提出してください。すでに通院され結果が分かっている場合は、受診報告書にその旨を記入し提出してください。

受診報告書

診断名	
-----	--

【今後の方針】（該当に○）

- 1 通院治療
- 2 経過観察（次回検査の時期： 年 月 日）
- 3 その他（ ）
- 4 特記事項

年 月 日

医療機関名
医師名

学校における健康診断で対象となる主な耳鼻咽喉頭の所見名の説明

1 耳垢栓塞（耳あか）	- 鼓膜が見えない程度にたまっています。このままプールに入ると耳あかがふやけて、更に聞こえが悪くなったり外耳炎を起こしたりします。 - 鼓膜が見えないため、中耳炎などの病気が隠れていることもあります。
2 滲出性中耳炎	- 鼓膜の内側（鼓室）に水がたまって、聞こえが悪くなる病気です。 - 痛みがないので本人が気付かないうちに進行します。 - 日常会話や学校生活に差し支えることがあります。
3 慢性中耳炎	- 炎症を繰り返し、鼓膜に穴（穿孔）があいています。 - 耳だれが続いたり、聞こえが悪くなったりします。放置すると難聴が進行するおそれもあります。
4 難聴の疑い	学校での聞こえの検査で、はっきり聞き取れないところがありました。
5 アレルギー性鼻炎	- 原因となる物質（アレルゲン）を吸入すると発症する病気で、くしゃみ・鼻水・鼻づまりの3症状を訴えます。 - 慢性的な鼻づまりは集中力の低下など学校生活にも影響し、しばしば鼻出血の原因にもなります。 - アレルゲンにはホコリ・ダニ・花粉などがありますが、花粉の場合は季節によって症状がかなり変動します。
4 副鼻腔炎	慢性的に粘性・膿性鼻汁があり、鼻づまりや嗅覚障害・鼻出血・頭痛・痰がらみの咳など、いろいろな症状の原因となります。
5 慢性鼻炎	- 慢性的な鼻づまりや鼻汁過多があり、集中力の低下など学校生活に影響を及ぼすと思われます。 - 学校の健康診断だけでは花粉症などのアレルギー性鼻炎や副鼻腔炎と診断できないものも含まれます。治療が必要な場合もあります。
6 鼻中隔わん曲症	鼻の左右の空間を仕切る壁（鼻中隔）が強く曲がっているため、鼻づまりや鼻出血の原因となることがあります。
7 アデノイドの疑い	鼻の一番奥にある扁桃組織の一つです。口を開けて呼吸をしていたり、「いびき」をかくなど、睡眠時呼吸障害の原因となったり中耳炎や副鼻腔炎を起こしやすくなったりします。
8 扁桃肥大	扁桃がはれています。大きくても心配ないものもありますが、呼吸や嚥下の障害（飲み込みにくい）を来す場合があります。
9 扁桃炎	- かぜをひきやすく、のどを痛めやすい原因となります。 - 繰り返し高い熱を出す習慣性扁桃炎や関節・腎臓・心臓の病気の原因になる病巣感染源となることがあります。
10 音声異常	長期にわたる声がれや鼻声などの異常があります。小学校高学年以上になると「声変わり」がうまくできないことも原因となります。
11 言語異常	話し言葉に異常があります。程度によっては専門機関での治療が必要となります。

留意事項

- 1 検査前少なくとも30分以内に鼻をかまないように指示する。
- 2 聴力の異常を発見した場合、特に軽度・中等度難聴、一側性難聴の児童生徒等への対応に配慮する。
学習を受けやすい座席配置や、ゆっくりと明瞭に話しかける等の配慮をする。
- 3 耳鼻咽喉頭の健康診断は特殊性を有するため、耳鼻咽喉科専門以外の学校医による総合評価のみでは児童生徒等の耳鼻咽喉頭の健康状態を把握することは難しい。保健調査票を十分に活用し、耳鼻咽喉科専門医による検査が必要と判断したときは、受診を勧める。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

保護者 殿

○年 ○組

氏名：〇〇 〇〇さん

学 校 名：〇〇市立〇〇小学校

校長氏名：○○ ○○

耳鼻咽頭の健康診断結果のお知らせ

耳鼻咽喉頭の健康診断の結果は以下のとおりでしたのでお知らせします。

1 異常なし

② 異常の疑い

所見	A	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
	B	

所見Aのお子様は、できるだけ早めに医師の診察、指導を受けられますこととお勧めいたします。

所見Bのお子様は所見や症状の程度が軽度なものです。経過によって症状が出てきました折には医師の診察、指導を受けてください。

所見Bの耳あかは家庭で処置していただいて結構ですが、無理にされると耳を傷つけるおそれがありますので十分に御注意ください。

所見や症状につきましては別紙「学校における健康診断で対象となる主な耳鼻咽喉頭の所見名の説明」をお読みいただき、お子様の健康状態や受診の判断の参考にしてください。

なお、受診報告書は保健指導の資料といたしますので、学級担任にご提出ください。

また、医療機関で詳しい聴力検査を受けられた場合は、オーディオグラムのコピーをもらい、受診報告書とともに提出してください。すでに通院され結果が分かっている場合は、受診報告書にその旨を記入し提出してください。

受診報告書

診断名	
-----	--

【今後の方針】 (該当に○)

- 1 通院治療
2 経過観察（次回検査の時期： 月 日）
3 その他（ ）
4 特記事項

令和 年 月 日

医療機関名

醫師名

帳票名：健康診断結果のお知らせ（耳鼻咽喉頭）

1.項目・記載内容

項番	項目名	内容	編集条件	備考
1	発行日	このお知らせを発行した年月日（和暦）を記載		
2	学年	児童生徒の所属する学年を記載		
3	学級名	児童生徒の所属する学級名を記載		
4	氏名	児童生徒の氏名を記載		
5	学校名	学校名を記載		
6	校長氏名	校長の氏名を記載		
7	1 異常なし 2 異常の疑い	「1 異常なし」、「2 異常の疑い」のいずれが対象なのかわかるように記載	・「1 異常なし」、「2 異常の疑い」の固定文言で対象でない方を取り消し線を引く、または、対象の方に○を付けるなどで、わかるようにする ・「1 異常なし」の場合、項番8、9の耳鼻咽喉頭の健康診断結果はそのままとし、とくに記載しない	
8	所見A	所見A（受診の勧め）に該当する疾病名などの所見を記載	複数の疾病名などがある場合は、読点などの区切り文字を用いて区切るようにする	耳鼻咽喉頭の健康診断結果

項番	項目名	内容	編集条件	備考
9	所見B	所見B(経過観察)に該当する疾病名などの所見を記載	同上	耳鼻咽喉頭の健康診断結果
10	元号	医療機関の記入欄の年月日に元号を記載		

2.構成

項番	用紙サイズ	縦・横	記載可能人数	複数枚の 跨り	○枚中○枚目の表示	職務執行者	発行単位	同一帳票内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	A4	縦	1	無	無	有	個人	学年、学級、出席番号	無	－